

岩手県 軽米町議会

議会だより

かるまい

No. 235

令和5年10月25日発行



主な内容

👉 軽米中央公民館に

議論が集中 **2**

👉 9月定例会 一般質問に6人登壇 **14**

👉 9月定例会 9月定例会採決結果 **21**

👉 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 **24**

今回の表紙は

花のまち軽米こども園運動会

9月8日の花のまち軽米こども園「親子ふれあい運動会」は天候に恵まれた中で開催となりました。日頃の練習の成果を発揮して、お父さんやお母さんと協力して親子競技を行うことにより親子の絆が更に深まったように感じました。

軽米中央公民館に 議論が集中

令和4年度決算及び条例改正等を可決

9月定例会（第4回定例会）は、9月1日から9月15日までの15日間の会期で開かれ、令和4年度一般会計と特別会計、水道事業会計の決算等について認定しました。他に固定資産評価審査委員、教育委員の任命の同意案2件や補正予算1件、条例の一部改正など、提案された18件すべてを可決しました。

今回の9月定例会のポイントでは、特別委員会で特に話題になった議案第3号軽米町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正について議論が集中しました。



青少年ホーム



軽米中央公民館内の様子

ぎかいの視点

施設の廃止、今後の活用は？

かるまい文化交流センターの開館を前に、青少年ホームと軽米中央公民館を廃止する条例が提案され可決された。

青少年ホームは、青年会活動やスポーツ合宿等に多くの方々に使用されてきた。最近ではピヨピヨ広場での使用に限られていた。

軽米中央公民館は、町の芸術文化の殿堂として昭和37年から多種多様に使用された。寂しい限りだが、時代の流れで致し方ない。

青少年ホーム、公民館ともに今後建物をどうするか、説明がない状況である。町内全体の空き家とともに町資産の遊休施設も手つかずの状況である。施設を廃止するときには、解体するのか、ほかの活用があるのか、将来的な方向性も含めて事業の執行に努めてほしい。

Q & A

Q 軽米中央公民館と軽米公民館の廃止理由を教えてください。また今後の社会教育についてどのような議論をされたのか。

A かるまい文化交流センターは多目的な活用をという目的で整備した。市町村が設置した公民館の運営方針は、営利を目的とした事業を行うことが一部制限されているため今回機能のみを移転とした。

Q 軽米地区公民館として存続して、地域の人たちが自主管理する体制づくりをしていくことが必要ではないか。

A 中央公民館は昭和37年に建設して老朽化の懸念や安全性を考慮して、かるまい文化交流センターを建設したところもある。今後も公民館として利用するか、新たな活用方法を考えるかは検討したい。



軽米中央公民館

暮らしと福祉

宇漢米館にバスを集約

町民バス運行业務委託 **2,207** 万円

町民バスを運行することで、住民の移動手段の確保とバスの効率的な運行により、住民の利便性の向上に寄与した。

問 町民バスや定期バスを利用する人が少ないと感じている。この状態が続けば定期バスが無くなると危惧している。

答 今年度のかるまい文化交流センターの開館に併せてバスターミナルを集約するというで考えている。すべてのバスが経由または停車をするため、利便性の向上につながる。また中高生の利用も期待できる。



かるまい文化交流センターバスターミナル

対象者に住居費用を助成

結婚新生活支援事業補助金 **111** 万円

婚姻に伴う新生活を支援することにより、地域における少子化対策の強化に資することを目的に、新規に婚姻した世帯に対して住居費や引っ越し費用の一部を助成した。

問 空家等活用推進補助金との併用は可能か。また婚姻届をいつまでに提出した方が対象となっているのか。

答 空家等活用推進補助金、若者・移住者空き家住宅取得事業費補助金との併用は可能となっている。また結婚新生活支援事業補助金の対象は令和4年度は令和4年1月1日以降に婚姻届を提出した方で、令和4年度末までの期間で該当する費用が生じた場合に支給している。



※町内の空き家ではございません

ぎかいの視点

安心・安全な町民バスの運行

町民バス利用者が減少していると聞く。今後は大型車でなくても小回りの利く、安心・安全なバスを考えてみる必要があると思う。

孤独死を耳にするため、安否確認の効果もある手渡し弁当事業は、今後も続けていくことが重要だと考える。

環境美化意識を高める

花いっぱい運動の展開 **98** 万円

花いっぱいコンクールを実施して町民と一体となって花にあふれるまちづくりの推進に努めるとともに、住民の環境美化意識の高揚に努めた。

問 軽米に来ればきれいな花がたくさん咲いていると来町者が感じられるように、町民の自治会活動の意識を高めるような仕掛けを作ってみてはどうか。

答 3年前から小さな花壇いっぱい運動というものを実施している。秋にチューリップの球根を町民の方や団体に配って小さな花壇でも花いっぱい運動ができるようにしており、コンクールに対するハードルを下げるなどしている。



防災センター前の花壇

ごみの戸別収集

高齢者ごみ出し支援事業 **21** 万円

高齢者の日常生活の負担を軽減するため、ゴミを戸別収集する。

問 何人でゴミ収集を行っているのか。またストック場所はどこのか。

答 収集員2名がトラック1台で行っている。町内全域を収集の後、ストックすることなく二戸地区クリーンセンターへ運搬する車両に積み替えて廃棄をしている。

高齢者の安否確認

緊急通報装置の整備 **164** 万円

在宅の一人暮らし高齢者等の自宅に緊急通報装置を設置して、緊急時の連絡体制や安全の確保に努めた。

問 一人暮らしの方から連絡するだけではなく、安否確認を定期的に行うことはしているのか。

答 設置者に対して、受信センターから月1回以上安否確認の連絡が行われている。また高齢者見守り事業として食の自立支援事業があり、安否確認ということで直接お弁当を手渡しする事業もある。



高齢者ごみ出し支援事業で収集したゴミを軽米地区クリーンセンター行き運搬車両へ積み替え

産業振興



農業用マルチシート

電気柵の上限を見直す必要がある

鳥獣被害防止対策事業

問 鳥獣被害防止対策の電気柵設置補助金は1件あたり半額補助で最高10万円までだが、上限を上げれば使う人が増えると思う。被害状況を確認して補助率を上げてほしい。

答 鳥獣被害が増えていることは認識している。町単の補助事業の内容、詳細な国庫補助事業の対象や内容等をお知らせ版を利用して全戸に周知する。町としてどのような支援ができるのか引き続き検討していきたい。



※町内のイノシシではございません

農業資材高騰による支援が必要

農業資材価格高騰等対策支援金 **5,660** 万円

原油価格高騰等の影響を受けている農業者に対して、令和3年の申告における販売金額に応じて支援した。

問 今年は資材の他に電気や燃料費も上がっているが、今年は事業を実施しないのか。

答 昨年度は支援金の財源がコロナ交付金であった。交付金額は令和3年の農業販売金額によって段階的に設定して支払った。今年度は現在のところ行う予定はない。

令和3年の農業販売金額	交付額	補助件数
50万円未満	2万円	105件
50万円以上100万円未満	5万円	52件
100万円以上300万円未満	10万円	84件
300万円以上800万円未満	20万円	99件
800万円以上	30万円	79件

ぎかいの視点

地域コミュニケーションと人口減少

産業振興は地域活性化と人口減少に大きな関係があるものと考えられる。地場産業に前例やこだわりなく支援をしていくことが重要であると考えられる。

販路拡大に結び付くPR

かるまいブランド販売促進支援事業 **110** 万円

問 軽米の商品は目玉となるものが多いと思うが販路が難しい。開発者が今後につながるようなPRが必要ではないか。

答 従来の認証者の中で継続しないというものも出てきている。認証されたことにより販路拡大に結び付くPRを目指していきたい。

商品券発行に時間を要する

プレミアム付き商品券発行事業 **3,000** 万円

プレミアム20%として、商品券を発行して町内の消費喚起に努めた。

問 夏はお盆前、冬は正月前に商店街の盛り上がりを手助けするというので発行したと思っていたが今年は9月から販売を始めた。当初の目的と主旨が変わったのか。

答 商品券発行の準備に取り掛かろうとしたところで、コロナ関連の交付金情報があったため6月補正予算措置をしてプレミアム20%の商品券を今年度も発行することとした。商工会ですぐに発行準備に取り掛かったが、商品券の印刷等で早くても8月末か9月でないと商品券ができあがらない状況であった。



雪谷川ダムフォリストパーク・軽米のアジサイ



かるまいブランド

トイレの水洗化へ

雪谷川ダムフォリストパーク・軽米管理運営費 **988** 万円

施設開所当初から(株)軽米町産業開発に施設管理を委託しており、適正管理と来客者へのサービス向上に努めた。

問 観光客の中で、トイレに関する問い合わせが多いようであるが、手入れが行き届いているのか。

答 フォリストパークのトイレが故障しており使えない状況である。出来る限りの修繕で対応しているが、今後は財源を確保して改修等を目指したい。

チューリップに継ぐ目玉

問 アジサイの整備が本格化しているが、整備したことにより、入場者や利用者はどれだけ増えたのか。

答 令和3年度からアジサイ整備を本格化してきた。今年はかなりの範囲で花が付くようになり見ごたえがある。また入場者数については把握していないが、PRはしているので問い合わせが増えてきている状況である。

道路・消防

若者住宅の今後は

住宅管理費 **150**万円

町民が町内の施工業者に依頼して行う住宅リフォームを奨励することにより、居住環境の向上及び町内の商工業等の活性化を図った。

問 現在整備している萩田2号団地住宅と町長が公約等でも話している若者定住住宅を建設した場合の入居条件は違うものか。

答 町長が考えている若者定住住宅は入居条件を緩和して、若い方やご夫婦、近隣市町村の若者の入居を想定しているものである。具体的な場所についてはまだ決まっていない。



萩田2号団地住宅



B&G前の町道

時間帯通行規制

問 B&G 前の町道を通学の時間帯は通行止めにする事で、子どもたちの通学の安全を確保することは可能か。

答 県道二戸軽米線の歩道整備状況を見てから対応したい。また時間帯の通行規制に関しては会議等でも話題になるが、現状では難しいと考えられる。

町道の維持管理

町道舗装修繕工事 **643**万円

安全・安心な道路環境の確保と沿道の生活環境の保全を図り、一般の交通に支障を及ぼさないよう道路の維持管理に努めた。

問 町内全域にかかる町道舗装修繕工事を実施したのか。

答 町内全域の欠損部や穴ぼこ補修を損傷が激しく危険があるところから優先に実施した。

団員確保の弊害は

問 町消防団員の定数が502名ということだが人口が減っても区域は小さくならない。団員確保が一番弊害になっていることはどのような部分なのか。

答 消防団員の確保は人口減少に伴い年々難しくなっている。核家族化の進展が要因であると考えられる。また地域の活動より個人の生活が重視されるような生活様式や仕事を町外に持っている方の増加が原因だと考えられる。



パレードの様子

予備消防団の検討へ

問 予備消防団というのを岩手県内でやり始めているところがある。火災があった際は消防団OBの人たちが先に出動してもらい消火活動をしている地域が何件かあるようだが、検討してはどうか。

答 県内のいくつかの市町村は予備消防団を採用しているような状況は認識している。これから消防団と様々な話し合いを重ねて予備消防団という有効な方法を検討していきたい。

ぎかいの視点

通学路の安全性を確保

歩道の勾配が急な所は、透水性舗装にすることで滑りづらく雪が早く融けるため、検討していくことが必要だと考えられる。

町では狭く危険な通学路が多くあるため、通学路には歩道が必要不可欠である。また町道は中央線だけでも良いので白線を引くことが重要であると考えられる。



消防演習

教育

給食費の全額助成を

軽米高等学校教育振興会事業費補助金 **1,200** 万円

軽米高等学校への町外からの入学希望者の増加に向けて、教育活動の充実・促進を図るとともに、在籍生徒の保護者負担の軽減を図るため、軽米高等学校教育振興会が行う教育振興事業に要する経費に対して助成した。

☑ 軽米高等学校で給食を希望している生徒に対して、給食費の全額助成を実施することにより軽米高等学校の魅力づくりの一貫にもつながるのではないかと。

☑ 現在給食費1食180円のうち1食90円の半額助成をしている。軽米高等学校の魅力づくりとして検討したい。

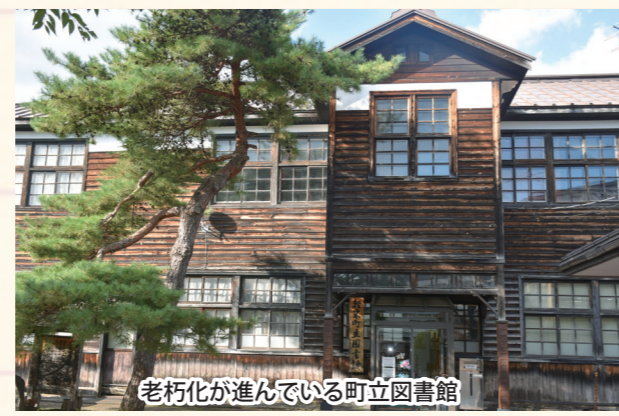


ぎかいの視点

入学者数の確保と生涯スポーツ

軽米高等学校教育振興会事業費補助金などにより、保護者負担の軽減を図ることで入学者数の確保に向けて期待が高まっている。また小中学校は学力向上につなげるため学習支援に取り組んでいる。

生涯学習は町民体育祭の中止などで軽米町総合体育大会の在り方など、生涯スポーツを深く考えて議論していく必要があると考える。



教育施設運営会に委託

町立図書館の運営 **236** 万円

住民の多様な学習ニーズに応えるため利用者のリクエストや蔵書構成に留意しながら、蔵書の整備や充実に努めた。

☑ 12月1日から図書館運営を教育施設運営会に委託するのか。

☑ 本年4月から教育施設運営会に委託して運営している。今後新しい施設になり、図書への引っ越しや運営で問題等も出てくると考えられる。教育委員会と教育施設運営会で連絡を密に取りながら円滑な管理を進めたい。



小中学生の学力向上

学習会事業 **35** 万円

小中学生の学力向上を図るため、長期休業中における外部講師等を活用した学習会を実施した。

☑ 中学生のサマー学習会は外部講師を依頼しているのか。また小学校の夏休み学習会は3校を集めて1箇所で開催したのか。

☑ 中学生サマー学習会については、青森県家庭教師協会から講師を招き実施した。小学校夏休み学習会は、各小学校において実施した。



英語教育の向上

外国語指導事業 **906** 万円

外国語指導助手の配置により、小中学生の語学力（英語）の向上を図るとともに、国際理解に向けた取り組みを行った。

☑ 小学校にも英語教育が導入されているとのことだが、専門の先生方がいるのか。現状として英語教育はどのように行っているのか。

☑ 現在小学校5・6年生は英語は教科となっている。3・4年生は英語活動で成績はつかない。軽米小学校では英語の専科の先生が福岡小学校と兼任でやっている。小軽米小学校と晴山小学校では専科の先生が配置されていないが、町では学習指導員として実績のある方が指導の補助についているため指導内容的には専科の先生が派遣されている学校と差はないと考えている。

討論

議案第3号 町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正

反対 条例の不備を感じる



議案第3号は軽米中央公民館と軽米公民館を廃止して小軽米公民館と晴山公民館の2館にするものである。また建物を閉館するだけでなく公民館機能も廃止となるため、条例の不備を強く感じる。

賛成 老朽化に伴い安全面を考慮



老朽化した軽米中央公民館、軽米公民館の建て替えに併せて多目的複合施設かるまい文化交流センターを整備した。建設当初から60年以上経っており施設の安全面を考え、慎重な検討が必要。

議案第9号 令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定

反対 訴訟問題の解決はいつになるか



かるまい文化交流センターの医療廃棄物処理に係る岩手県ほか1名の方との訴訟に関する弁護士委託料が446万8,669円の支出がある。12月に開館となるが訴訟問題の解決はいつになるのか。

賛成 事業継続への各種政策が進んだ



かるまい交流駅(仮称)整備事業、町営住宅整備事業等の大規模事業をはじめ、農業者や事業者に対して農業資材価格高騰への支援や運輸業者等への運行支援等、事業継続への各種政策が進められた。

議案第10号 令和4年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

反対 生活がさらに悪化していくのでは

国保の7割軽減世帯が722世帯だったのが770世帯に増えている。保険税を滞納し、短期保険証の対象になっている世帯が8月現在で74世帯である。保険証を差し止められて治療にも行けず、生活が悪化して貧困状態になる人もいるのではないか。 江刺家 静子 議員

賛成 国保保険者としての機能維持



岩手県国保運営方針に基づき、一般会計からの法定外繰入れに頼ることなく、また容易に被保険者に国保税の増額を強いることはなく、国保保険者としての機能を維持するために努力をしている。

議案第13号 令和4年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

反対 短期保険証の発行

後期高齢者にも滞納している方に短期保険証、資格証明書発行ということで、病院の窓口で10割を払うという制度がある。収入が増えることが望めない高齢

者にとって、とても危険な制度である。保険料や医療費の値上げは生活を圧迫して、家族への負担や受診を控えて病状悪化につながる。 江刺家 静子 議員

補正予算

一般会計予算を **2億7,495万5千円**増額

地域おこし協力隊の募集

かるまい文化交流センターの開館が12月1日となっている。現在募集している地域おこし協力隊も含めて運営を想定していると思うが、現時点で応募はあるか。

現在は応募はない状況である。問い合わせ等はあるが、応募には至っていない。引き続きポータルサイト等を使った募集を進めていきたい。



12月1日開館に向けて準備が進められている宇漢米館

高速バスの利用促進へ

消耗品費・広告料 **121** 万円

かるまい文化交流センターのバスターミナル設置に伴い高速バスの利用者に対して、利用度に応じて商品券の支給を行う。利用促進と併せて町内の消費喚起を行いたい。

軽米発着の高速バスがあることを知らない人が多いと思うので広報活動が必要である。また商品券はどのようにして引き換えられるのか。

現段階として八盛号は、軽米・盛岡間の運賃が片道1,800円で、2回の利用に対して1,000円分の商品券をお渡しする。軽米・東京間のシリウス号の運賃は、時季により7,800円から1万円程度となっており、1回の利用について2,000円分の商品券をお渡しする。引き換え方法は乗車証明書等を想定している。

第3回臨時会

7月31日開催

第3回臨時会は7月31日に開催され、令和5年度一般会計補正予算(第4号)や小型動力ポンプ付積載車の購入、子育て支援広場用備品、かるまい文化交流センター駐車場整備工事、町道大町下新町線道路改良舗装工事の計5件を全員賛成で可決しました。慎重な審議が行われました。

小型動力ポンプ付積載車 **1,482** 万円

子育て支援広場用備品 **544** 万円

かるまい文化交流センター
駐車場整備工事 **2,926** 万円

町道大町下新町線
道路改良舗装工事 **2,056** 万円

～ライスセンター視察研修～

9月11日特別委員会終了後に二戸北部ライスセンター行政視察研修を実施した。令和4年度強い農業づくり総合支援交付金事業を活用して令和5年8月31日に引き渡しとなった。主要設備の詳しい説明を受けて、粗選機や屑米タンク、粉殻庫についての質問があり、有意義な研修となった。



二戸北部ライスセンター



町の遊休資産

問 遊休資産の活用は

町長 財産管理の方向性を定めて利活用を検討したい

問 町の主な遊休資産は38か所と数多くあるが、どのように活用するのか、または処分するのか。

町長 現状は建物等が取り壊されて土地のみが残されているところ、建物はあるが耐震性に問題のあるもの、老朽化が著しく使用に適さないと認められているもの、耐震性に問題はないが活用に多くの費用負担が見込まれているものがある。施設ごとの特性や課題等



軽米中央公民館の老朽化が進んでいる

問 方向性を定めて有効利用や売却処分等を進めたい。

町長 現在の軽米中央公民館と町立図書館については施設の老朽化が進み、今後改修費や維持管理費の増加が懸念されるため、子育て支援施設やバス待合所等も加えた多目的複合施設としてかるまい文化交流センターを整備した。移転後の建物の活用や処分については施設の老朽化が著しいことから、そのまま残した場合の維持管理経費や、安全対策に要する経費も考慮のうえ検討を進めたい。

「八戸平原地区」で整備した施設の今後



二級河川新井田川水系を流域とする世増ダム

問 八戸平原総合農地開発事業施設維持管理補助金の活用方法を伺う。

町長 国営八戸平原土地改良事業により造成された土地改良施設の管理及び付帯事業の推進を図るため、軽米町土地改良区に対して平成16年度から補助しているものである。

問 八戸平原土地改良区が解散する意向で東北農政局、青森県、岩手県、関係市町村及び土地改良区で検討を進めているが現在の状況は。

町長 具体的に決まり次第報告する

問 八戸平原土地改良区が解散する意向で東北農政局、青森県、岩手県、関係市町村及び土地改良区で検討を進めているが現在の状況は。

町長 農政局主催の検討会では今後の新たな施設計画、施設整備費、維持管理費について、全施設維持、揚水ポンプのダウンサイジングも含めた一部用途

廃止、全施設廃止等を想定した検討のほか、今後は八戸平原土地改良区に代わる管理者について検討を重ねている。検討会は今後の施設のあり方について意思統一を図るためのものであり、具体的な方向性が示されたら報告したいと考えている。

第4回定例会 6人が登壇 一般質問

一般質問とは
 ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
 ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
 ・質問者の順番は通告した順番で行われます
 ・同一項目についての再質問は2回までできます
 ・時間の制限はありません



町の遊休資産
 国営総合農地開発事業
 「八戸平原地区」で
 整備した施設の今後

職員体制と町政運営



子育て支援（一時預かり保育事業）
 水害後、復興祈願として
 植樹された桜の木

信号機の撤去
 軽米秋まつり
 町民体育祭の検討状況



誘致企業
 高齢者の移動、買い物支援

高齢者が安心して暮らせる
 町づくり
 小中学校の女子トイレに
 生理用ナプキンの設置
 町道の舗装修繕の計画と、
 今年度の施行



町議会HP
 QRコード



掲載されている質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。



ちやや 隆 茶屋

職員体制と町政運営

問 どのような職員採用を目指すか

町長 定員適正化計画に近づくよう修正を行う

副町長 副町長就任以来、半年来、どのようなことが見直されて何が変わったのか。【町長】 就任以来、半年ほど経過したところであるが大きな見直しや変更点等はない。副町長は主に役場内の業務の進捗管理、調整役を担っているとともに、具体的な事業化への検討も進めている。今後については、喫緊の課題となっている現在の町政課題に適切した組織への見直し、基盤整備を含めた産業



役場庁舎2階の副町長室

振興施策の検討を進めているところである。【町長】 要因としては、公務員の組織の旧態依然とした体質が合わない、給料等の待遇面での不満、仕事量の増による一人ひとりの負担増、職場の人間関係、仕事への達成感の欠如が要因と考えられるのか。【町長】 近年職員の多用の方の中途退職が多いと思われるが、原因をどのように捉え、今後の対応をどう考えているのか。【町長】 要因としては、公務員の組織の旧態依然とした体質が合わない、給料等の待遇面での不満、仕事量の増による一人ひとりの負担増、職場の人間関係、仕事への達成感の欠如が要因と考えられるのか。



たむら せつ 田村

子育て支援（一時預かり保育事業）

問 お預かりした子どもの対応は

町長 在園児たちと同じ活動をしている



花のまち軽米こども園運動会の様子

問 現段階で一時預かり保育事業を利用していない家庭において突発的な事情等により家庭での保育が困難になった場合に、一時的にお子さんをお預かりする一時預かり保育事業については、7月下旬より花のまち軽米こども園で実施している。9月1日現在で、町内在住の2名の乳幼

児の家庭から、延べ21日間の利用がある。【町長】 預かりした子どもはどのような対応で過ごしているのか。また時間は親の希望で異なるのか。【町長】 お預かりしたお子さんについては、その年齢に合った教室で、在園児たちと同じ活動しながら過ごしている。一時預かり保育は月曜日から金曜日まで、午前8時30分から午後5時15分までの間で保護者の希望する時間帯でお預かりをする。子育て支援において全国のトップに立つという大きな目標に向かって子どもを安心して産み育てられる町づくりのため取り組んでいる。

水害の後、復興祈願として植樹された桜の木

問

河川敷の桜の環境対策は

町長

枝の剪定と除去作業を実施

問

向川原から横井内の河川敷の桜は、枝や葉が生い茂り道路にはみ出ている所もある。今後の環境対策はどのように検討しているか伺う。

町長

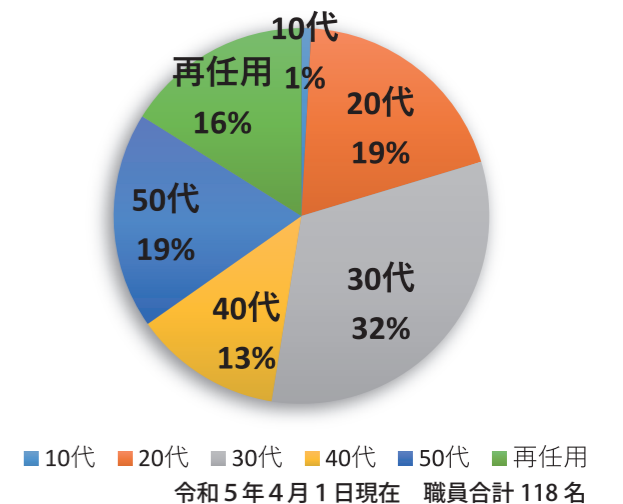
河川敷の桜は「てんぐ巣病」が目立つようになり、一部の桜の枝や葉が道路にはみ出していることも確認しており、歩行者や自動車の通行への支

障とならない対策が必要である。本年度の作業は、町道の通行に支障のある主な区間を対象に枝の剪定とあわせ「てんぐ巣病」に感染した枝の除去作業を実施する。一般的に葉が落ちた後に行うことが樹木への影響が少ないとされているため、専門知識を有する業者の意見を取り入れて実施したいと考えている。



雪谷川河川敷

職員の年齢構成



る。また再任用職員は、体調面での不安や家庭環境の状況も原因の一つである。今後は業務の見直しを行い仕事量の適正化を図るとともに、情報・デジタル技術活用による業務の効率化、職場でのコミュニケーションの改善、ストレッチング結果に基づく職場環境の分析等により、職場の物理的業務量の負担や精神的ストレスの軽減を図る必要がある。

問 職員採用の現状を踏まえて今後どのように職員を採用されていくのか。【町長】 定員適正化計画の数値にできるだけ近づけるよう軌道修正を行い、民間経験者を継続するとともに、定年延長が本年度より開始されて定年退職は2年に1回ずつとなるが、定年退職者が少ない年度においても職員採用を実施し、職員の確保に努めたい。



誘致企業

問 地域にもたらす経済効果は

町長 雇用の創出による活性化

小軽米地区に誘致計画がある野菜生産団地、バイオマス発電事業について、事業内容を伺う。
【町長】 宮城県において次世代型大規模園芸施設を運営する農業法人が本町小軽米地区に約3ヘクタール規模のガラスハウス施設を整備して、IoT技術を活用した環境制御型の水耕栽培によるパプリカ、イチゴの周年栽培を計画している。首都圏で蓄電池の製造など再生可能エネルギー事業を展開する企業が本町小軽米地区に木質バイオマス発電施設の整備を計画している。敷地面積約1.5ヘクタールに貯木場、チップ製造施設、木質バイオマス発電施設を整備して発電を行うもので、発電規模は1.



木質チップ

96メガワット、固定価格買い取り制度で電力会社に売電する。
【町長】 企業が立地することにより人口流出への歯止めや、町外からのターナー、Uターンも期待できる。また新たな雇用の場の創出により地域で暮らす人が増加して、衣食住関連企業の進出、新たな施設の設置による地域経済全体が活性化すると考えられる。

高齢者の移動、買い物支援

日常生活の移動手段、買い物等の支援策を伺う。
【町長】 各地域から町中心部へ町民バスを週2回運行しているほか、廃止路線代替バスとして、笹渡・米田方面にはコミュニティバスを運行するなどの交通空白地域のカバーに努めている。



町民バス

町内全域に整備した光ファイバー通信網の効果実績を伺う。
【町長】 地上デジタル放送のテレビ難視聴の解消が図られたほか、かるまいテレビや告知放送端末により、町からの情報発信の強化が図られた。またかるまいテレビの番組として、介護予防を目的とした体操、お口の健康体操などを放映し、町民の皆様の健康づくりに役立っている。



信号機の撤去に反対を

問 信号機撤去に反対する考えは

町長 関係機関と連携し要望活動に取り組む



軽米インター前信号機

町内2か所の信号機を撤去するという。町長は反対する考えはないか。
【町長】 軽米インター、徳楽寺前の信号機の撤去には強い危惧がある。当該道路は通学路であり、児童生徒の安全確保への懸念もあり、7月に信号機存続を求める意見書を提出した。交通事故抑止、町民の不安解消のため、関係機関と連携し、要望活動等交通安全対策に取り組みたい。

町民体育祭は今年も中止

開催に向けての検討会議が開催されたか。また先進事例の状況はどうか伺う。
【教育長】 8月に町民体育祭検討会議を開催

調査研究し関係者等で方向性を決めたい

して、地区の代表者と協議したところ、参加者不足や地域住民の高齢化、世代の偏り、地域の希薄化などの課題が多く中止となった。町民体育祭は長い歴史があり、継続実施を希望する強い声があったため、他市町村の実施状況について調査研究をして、地区代表者や関係者と慎重に検討して方向性を決めたい。

軽米秋まつりの盛り上がり

昨年までの秋まつりの催し内容の違いを伺う。
【町長】 昨年休止の駒踊りが踊り手の確保に努め復活。前夜祭は見合わせ、山車運行前後にかるまい文化交流センターで、30分程の山車団の共演を行う。

秋まつりは町全体の盛り上がりどころか、縮小傾向では。
【町長】 山車運行、交通規制区間等の要望があり、参加団体と情報共有し、来年度以降は創意工夫し、盛大な開催に努めていく。



駒踊りの様子

最大イベントが縮小傾向では

情報共有し創意工夫し盛大な開催に

《9月定例会》採決結果を紹介

番号等	案件内容	本会議の採決結果
同意案①	固定資産評価審査委員会の委員の選任に関し同意を求めることについて 〔大村 光憲氏=下野子下組、任期：令和5年9月6日から令和8年9月5日〕	同意 (全員賛成)
同意案②	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて 〔紫葉 守氏=下野場、任期：令和5年10月1日から令和9年9月30日〕	同意 (全員賛成)
諮問①	人権擁護委員の推薦に関し意見を求めることについて 〔笹山 結実男氏=新井田〕	適任 (全員賛成)
報告①	専決処分事項の報告について 〔公用車(ゴミ収集業務)による物損事故の損害賠償〕	—
議案①	軽米町公共施設等総合管理基金条例 〔公共施設の維持管理等に必要な経費に充てるため、基金を設置するもの〕	可決 (全員賛成)
議案②	軽米町立図書館設置条例の一部を改正する条例 〔軽米町立図書館の移転に伴い所要の改正をするもの〕	可決 (賛成多数)
議案③	軽米町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正 〔軽米中央公民館及び軽米公民館の廃止に伴い所要の改正をするもの〕	可決 (賛成多数)
議案④	軽米町立青少年ホームの設置及び管理に関する条例を廃止する条例 〔軽米町立青少年ホームを廃止するもの〕	—
議案⑤	軽米町生涯学習センター設置条例の一部改正 〔軽米町生涯学習センターの移転に伴い所要の改正をするもの〕	—
議案⑥	軽米町下水道事業の設置等に関する条例 〔軽米町公共下水道事業に地方公営企業法の財務規定等を適用するため条例を制定するもの〕	可決 (全員賛成)
議案⑦	軽米町公共下水道区域外流入条例 〔軽米町公共下水道の区域外からの汚水の流入を認めるため条例を制定するもの〕	—
議案⑧	軽米町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例 〔地方自治法の改正に伴い、所要の改正をするもの〕	—
議案⑨	令和4年度軽米町一般会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 79億 4179万 1千円〕	認定 (賛成多数)
議案⑩	令和4年度軽米町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 10億 7018万 9千円〕	認定 (賛成多数)
議案⑪	令和4年度軽米町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 1億 455万 3千円〕	認定 (全員賛成)
議案⑫	令和4年度軽米町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 2395万円〕	認定 (賛成多数)
議案⑬	令和4年度軽米町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 〔歳出決算総額 1億 1094万 2千円〕	認定 (賛成多数)
議案⑭	令和4年度軽米町水道事業会計決算の認定	認定 (全員賛成)
議案⑮	令和5年度軽米町一般会計補正予算(第5号) 〔2億 7495万 5千円を増額し、総額 74億 4456万 1千円〕	可決 (全員賛成)
請願陳情②	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願について	採択 (全員賛成)
発議案①	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 〔請願陳情②に関連し、政府関係機関に意見書を提出するもの〕	可決 (全員賛成)

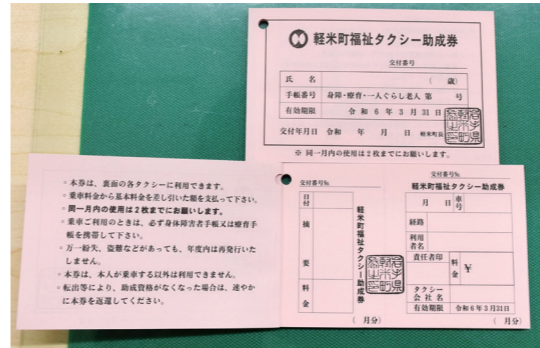
高齢者が安心して暮らせる町づくり

問 福祉タクシー 80歳以上世帯に

町長 町民からの要望を伺い検討する



えきしか しずこ 江刺家 静子



令和5年度に配布している福祉タクシー券

【町長】 令和4年度の交付状況は障がいのある方が42名、一人暮らしの80歳以上の方が137名である。また助成単価は初乗り料金に1メートル分を上乗せした額で、他市町村より手厚い制度となっている。町民からの要望を伺いながら80歳以上の高齢者世帯も対象にするか検討したい。

問 80歳以上の高齢者世帯も福祉タクシーの対象とするについて伺う。

町道の舗装修繕の計画と、今年度の施行

町長

現場確認のうえ、路面補修を実施

問

町道の舗装修繕が必要では

【町長】 上新町・大町交差点から徳楽寺までの道路は歩道を表示する白線が消え、舗装も側溝の蓋も補修が必要ではないか。

【町長】 サイドラインの復旧は摩耗状況の激しい路線などを優先して計画的に実施している。



損傷している側溝の蓋

学校に生理用ナプキンの設置

問

小中学校に生理用品の設置を

町長

生徒の健康状態を把握して提供

問

小中学校の女子トイレに生理ナプキンを置くことについて伺う。

【町長】 トイレで手に取るより、児童生徒の相談に応じて健康状態を把握しながら提供する。また、衛生面と健康管理において有効だと考えている。

【町長】 避難所生活の質の向上を図るため、必要な物資の調達について薬局等とあらかじめ「物資供給協定」を締結することを検討したい。

【町長】 防災用品に生理用品を備えることについて伺う。

【町長】 避難所生活の質の向上を図るため、必要な物資の調達について薬局等とあらかじめ「物資供給協定」を締結することを検討したい。

町政調査会の活動報告

～音更町議会との交流深める～

議員7名が来町

音更町議会議員（2期目）による表敬訪問並びに視察調査を受け入れました。音更町議会議員7名と事務局2名が来町して、軽米町議会運営やかるまい文化交流センター「宇漢米館」の施設説明、ミレットパーク・ソーラー館で軽米西・東ソーラーの



音更町議会行政視察研修 集合写真

説明、株式会社十文字キカンパニーのバイオマス発電施設の説明などを行いました。また意見交換では議会改革や人口減少・少子化対策調査特別委員会、議会だよりの内容、再生可能エネルギーに関するものなど多くの内容について意見交換を実施しました。



意見交換



かるまい文化交流センター視察



ミレットパークソーラー館視察



研修会歓迎のあいさつ

今年で10年連続 軽米病院環境整備活動

軽米町町政調査会（大村税会長）は7月22日に、今年で10年連続となる県立軽米病院の環境整備活動を行いました。議員9人のほか町シルバー人材センターの皆さんからもお手伝いいただき、病院前駐車場周辺の草刈り作業と高所作業車で軽米病院の出入口の外灯を遮っている樹木や宿舍の桜の木の剪定作業等を手分けして行うことで、県立軽米病院の景観美化に努めました。



議員9人のほか、シルバー人材センター等から多数の参加をしていただきました

軽米町議会 秋まつり軽米音頭流し踊りに参加

新型コロナウイルスが流行してから昨年度に引き続いて、初めての2年連続の開催となりました。今年も軽米町町政調査会は、軽米秋まつり中日の9月17日に開催された軽米音頭流し踊りに参加しました。9名の議員が浴衣姿で役場職員とともに踊りました。



9月17日の流し踊りに議員9人が参加

議会報編集常任委員会の活動報告

全国町村議会広報研修会

□9月27日(水)
 □東京都 日経ホール

講師3名による「広報担当者が知っておきたい法律知識」、「なるほどそうか…知ってよかった！読者を夢中にさせる広報紙づくり基礎の基礎！」、「パツと伝わる広報紙に！やってはいけないデザイン講座」をテーマとした講義が行われました。情報発信する側の思いを具体的にわかりやすく、町民に伝わる広報紙作りの知識や基礎について学びました。



日経ホール前

見出しの大切さ
 読みたいと手にとってもらえる広報とは、うなずくような見出しが大切です。そして、読み手は住民です。住民目線での見出しで住民誰もが読みやすい広報を目指して頑張ります。
 [委員長 田村 せつ]

解りやすい広報紙
 議会のこと、住民が関心を持てるきっかけになるような議会広報紙を目指すために、見やすく解りやすい議会広報紙の編集を心がけていきます。
 [副委員長 上山 誠]

広報で重要な法律知識
 研修会で弁護士の先生が講演したのは初めて。著作権、プライバシー権、写真、イラスト、新聞等の利用に関する注意点について初めての経験で知らなかったこともあり勉強になりました。
 [委員 茶屋 隆]

愛情ある見出しに
 読者ニーズを捉え、心地よい住民目線で、企画力、編集力、デザイン力を磨き、読んでもらえるためにも、ハートに刺さり、印象に残るためにも、愛情ある見出しづくりを心がけたい。
 [委員 中村 正志]

デザインで企画が変わる
 企画力・編集力・デザイン力の3つの基本を磨くことが重要になってきます。住民ニーズをしっかりと捉え、心地よい住民目線を意識した閲覧しやすい広報紙を目指したいです。
 [委員 甲斐 鉦康]

町村議会広報研修会
 今回の全国町村議会広報研修会全体の講義を通して、情報発信する側の思いや関係を具体的にわかりやすい形容で印象深く伝えることが必要なことだと感じました。
 [委員 田中 祐典]

